

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立蓮田松韻高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の現状や課題などを踏まえて、学校として目指す方向が示されている学校像である。創立10周年を迎えるに当たり、学習指導を始め、全ての教育活動を通して生徒指導を行うといった方針等に基づくこれまでの実績や成果を踏まえ、新しいステージにつながる魅力的な学校像を模索していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待、生徒の学力や多様な進路の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。目指す学校像の実現に向けて重点化された適切な目標であり、学校の状況や課題を踏まえたものとなっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	分掌・年次等が連携しながら目標達成を目指す体制が整えられ、重点目標達成に向けた方策が実施されている。学力向上委員会を中心とした授業改善の取組などについて、よく議論をしながら、より具体的な評価項目を設定し、教職員全体の参画を促していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体の方針に基づいた方策が分掌・年次等で策定され、朝自習などが実施されている。評価指標については、方策の達成状況を評価するものとは必ずしもなっていないため、次年度の改善に生かされるよう取組指標と成果指標をうまく組み合わせで分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は、校長通信や会議などあらゆる機会を通じて、学校経営の方針を示し、教職員の共通理解を図っている。校長が状況に即して的確にリーダーシップを発揮し、課題の解決の方向を示しており、目標の達成に向けて更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	地域の要望を受けての市内各種行事への生徒の参加や図書館・体育施設の開放など地域との連携が図られている。今後も学校関係者の意見やアンケートの結果を参考にして学校の強みを生かしながら、学校の取組の改善、更新を行っていただきたい。	
特記事項			